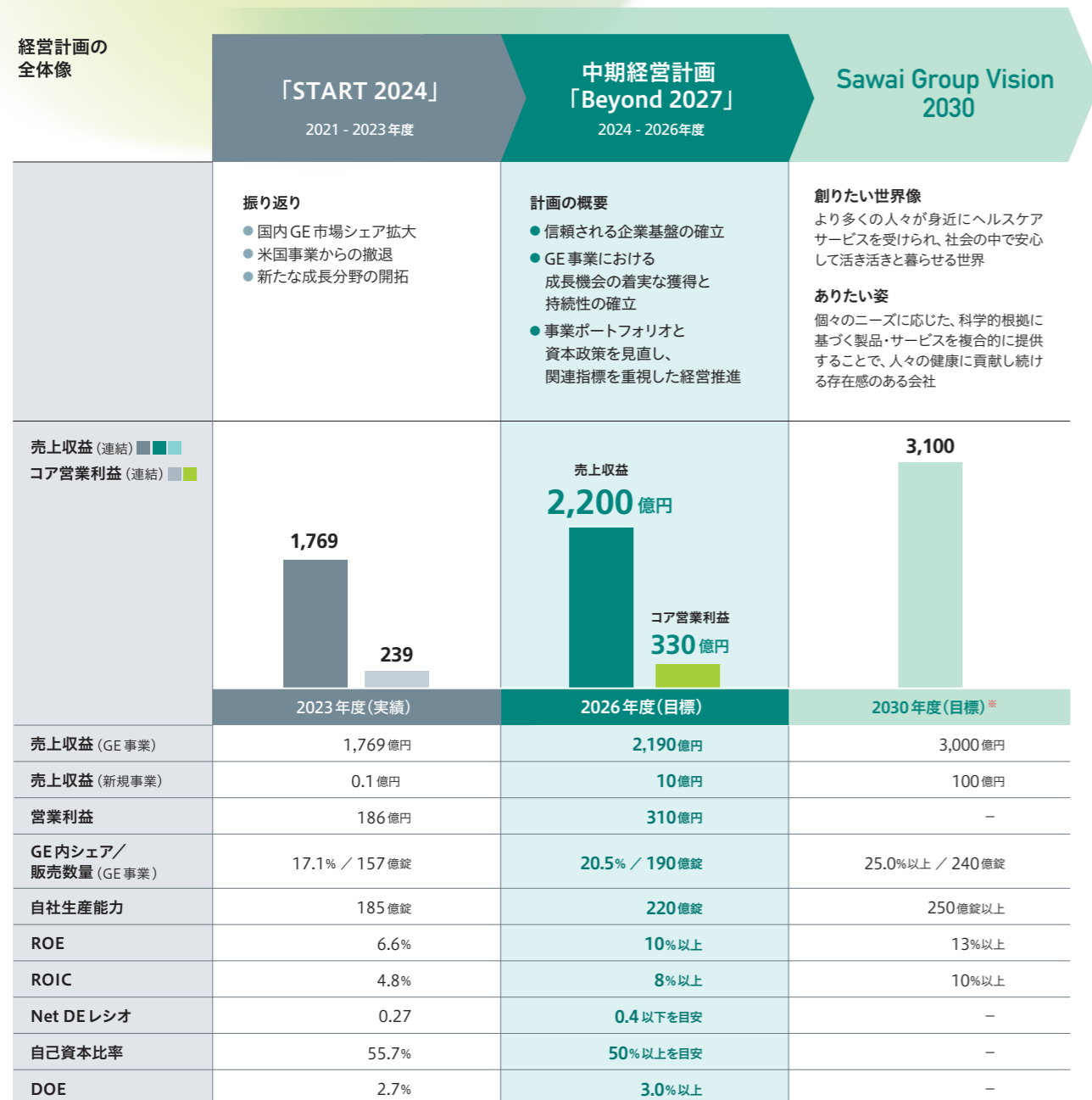


# 「Sawai Group Vision 2030」達成に向けて 新中期経営計画「Beyond 2027」を策定

## 信頼される企業基盤を確立し、さらなる成長を目指す

当社は2024年6月に新中期経営計画「Beyond 2027」を発表しました。

「信頼される企業基盤の確立」を土台とし、長期ビジョン達成に向けた道筋をつけるとともに、GE事業における品質確保と生産能力拡大のために経営資源を集中させて取り組みます。



\* 2024年6月見直し

## 前中期経営計画「START 2024」の総括

長期ビジョン実現に向けた最初の3年間として、「国内GE市場におけるシェアの拡大」「米国事業における将来の成長に向けた事業投資」「新規事業への進出による新たな成長分野の開拓」に取り組みました。

国内GE事業では、プラス面マイナス面ともに様々な要因が発生しました。そのなかで、増産体制強化により生産数量を増加させ、さらに新製品の一番手上市や単独上市も実現。シェアは1%上昇し、売上収益、EPSやROE、ROICも改善しました。一方で、米国事業は原則撤退しました。新規事業は、既存事業で培った強みを活かせる領域への挑戦を開始しました。

### 「START 2024」定性面での振り返り

国内GE事業	● テプレノンカプセル50mg「サワイ」の安定性モニタリングにおけるGMP不適合 ● 既存工場・協力会社の増産体制強化による生産数量の増加 ● 早期の200億錠以上の自社生産体制確立に目途 ● 長期的な安定供給実現のための流通価格政策の見直し
米国事業	● 2021年度に多額の減損を計上するなど、収益力が資本コストを下回る状況が続く同事業から2024年4月に原則撤退
新規事業	● 国が目指す健康長寿社会の実現に向けて、既存事業で培った強みを活かせる新規事業への挑戦を開始

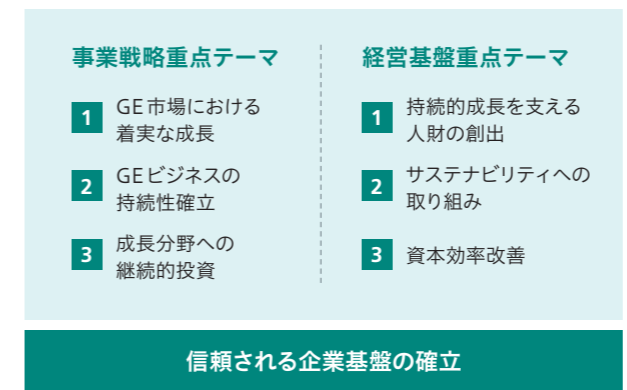
## 新中期経営計画と2030年の長期ビジョン

### 「Beyond 2027」(2024-2026年度)の重点テーマ

新中計では、「事業戦略」と「経営基盤」に分けて計6つの重点テーマを設定したうえで、すべての土台として「信頼される企業基盤の確立」を位置付けました。

「事業戦略」では、当社の高い製剤技術力で、競争優位な品目開発や単独上市を実現し、新製品の売上増加を目指します。また、引き続き安定供給力の強化に取り組みます。加えて、中国・ASEAN地域をターゲットに、サワイジェネリックの海外輸出にも取り組みます。

「経営基盤」では、成長戦略に欠かせない多様な人財の確保と育成に取り組むとともに、CO<sub>2</sub>排出量の削減、コーポレート・ガバナンスのさらなる改革も実施します。さらに、資本効率改善として、P/L中心から、資本コストを意識した経営に転換し、株主の皆さまの期待にお応えできるよう経営改善に取り組みます。



### 「Sawai Group Vision 2030」に向けて

将来にわたってGE医薬品産業の中核を担い、リードしていくため、今後3年をかけて、起こりうる産業構造の変化に対応できる体制構築とコスト競争力の強化、資本効率の改善を図っていきます。また、その実現のため、価値創造の源泉である人的資本の強化に最重要課題として取り組みます。

すべてのジェネリック医薬品メーカーでNo.1の240億錠を販売し、日本の社会インフラになくはない存在として、社会的責任を果たします。また、予防や診断領域まで含めた製品やサービスを提供することで、社会課題の解決と社会の発展に寄与していきます。

### 長期ビジョン達成に向けて取り組むべき課題

国内GE事業	● 持続可能なビジネスモデルの確立 ● 信頼性保証体制の確立、コンプライアンス・ガバナンスの向上 ● 医薬品供給不足の早期解消と一層の成長に向けた、生産設備(投資済)の稼働率向上、生産能力拡大 ● 成長を支える新製品の着実な開発・上市 ● さらなる原価低減や生産キャパシティ創出 ● 長期的な安定供給実現のための価格政策の継続実施とコストコントロール ● 他社との連携・協力の推進
新規事業	● 各事業の早期収益化に向けた継続対応
財務資本政策	● 資本効率の改善によるROE向上
サステナビリティへの取り組み	● 価値創造の源泉である人的資本の強化